



JCニュース

# News

## TOP NEWS

### 理事長挨拶

### 第66年度 初老祝賀会／厄入り清祓い

本誌  
 ～**創**する長崎を**創**する  
 大きな原動力**創**のために～  
 Junior Chamber  
 International  
 NAGASAKI  
 2018

2018 7  
Vol.737

創 立／昭和27年12月1日  
 承 認／昭和28年2月7日  
 認証番号／36番  
 理 事 長／光富 英治  
 会 員 数／131名  
 編 集／一般社団法人 長崎青年会議所 広報委員会

**JCI**  Junior Chamber International NAGASAKI  
 一般社団法人 長崎青年会議所

事 務 局／〒850-0874 長崎市魚の町3番21号  
 (マリンハイツ長崎202号)  
 TEL 095-825-2709 FAX 095-822-5399  
 E-mail office@nagasaki-jc.jp  
<http://nagasaki-jc.jp/>



Webサイトにアクセスできます

- 長崎ブロック大会IN佐世保 事業報告  
どがんする？長崎 ～未来を決めるのは君だ！～
- 6月会務室担当例会[Noマナー No JAYCEE]
- 卒業予定者インタビュー
- 2018 JCI ASPAC 鹿児島大会 ブース出展
- 65年をプレイバック「サマーコンファレンス」
- 事業告知 サマーコンファレンス
- 事業告知 ながさきみなとまつり～みなとで夏を楽しもう！～



# 理事長挨拶

一般社団法人長崎青年会議所  
第66代理事長

光 富 英 治



7月になりましたが、先日の台風もひどく、まだまだ梅雨が明けない今日この頃、皆様いかにお過ごしでしょうか。6月は厄入りシーズンですが、まずは去る6月8日(金)に行われました厄入り清祓い、そして初老祝賀会では当麻委員長をはじめと致します会員開発交流委員会の皆様、朝から夜遅くまでの準備・設営、大変お疲れ様でした。厄入りされた皆様の厄を皆でお願い、又、初老を迎えられたお殿・お姫のお祝いを特別会員の皆様を含め約150名という大変多くの方々で行うことができました。特に大きな事件?もなく、無事に終えることができました。残りあと半年、無事に過ごすことができますようお祈り申し上げます。

又、去る6月30日(土)、7月1日(日)に行われました「ふれあい合宿」心のつながり」におきましては、青少年育成委員会の皆様、2日間にわたり大変お疲れ様でした。昨年に引き続き、児童養護施設の子とも達と1泊2日での合宿ということで、昨年よりも更に趣向を凝らした内容となっておりましたが、前日から早朝にかけての大雨のためか、幾つかの内容が変更になったのは非常に残念でした。しかしながら、昨年よりもより多くの子ども達の笑顔を見るこ

とができたのは非常に良かったと思います。又この事業を通し、我々が何を学び、どのように行動していかなければならないのか、多くの学びや気づきがあったことと思います。これら是非、自分自身のために生かしていただき、より一層の自己成長を図っていただければと思います。

そして、7月は多くの事業が控えております。仮入会員必修セミナーから始まり、サマーコンファレンス、みどり棟、みなとまつりと、多種多様な事業があります。しかしながら、これら各種事業も参加しなければ何もわかりません。それぞれの事業の目的、そして地域へもたらすものなど、JCが修練・奉仕・友情の三信条のもと、どのようにして社会貢献を行っているの

## 私の履歴書 ③

光 富 英 治

1987年(昭和62年)に長崎市立磨屋小学校(現在の諏訪小学校)に入学する。この頃から1学年で2クラス、合計70名程度の人数であった。先月号で記載したとおり、田上の保育園に通っていたため誰一人友達はいなかった。多くは、近くの皓台寺幼稚園や大音寺幼稚園、中央保育所出身であった。しかしながら、2クラスしかないため、友達はすぐできるようなになる。そして現在でも付き合いがあるのは、JCメンバーでもある皆さん(ご存知の吉田宗由君、手塚雄一朗君、そして川口親義君である。又、JCの先輩にも磨屋小学校の卒業生が数多くいらっしゃる。そ

か、まずは我々がその目的意識をしっかりと持たないことには、地域の方々には何も伝わりません。一人ひとりがしっかりと目的意識を持って、各種事業に臨んでいただきますようお願い致します。

更に、ながさき100km徒歩の旅がよいよ近づいて参りました。今年で5回目という節目を迎え、小学生の参加者も今まで一番多い約130名の応募がありました。残念ながら、安全や宿泊の都合上、100名という定員と なってしまいましたが、それでもこれだけ多くの方々にご参加の希望をいただいたということは、やはりこの事業に対して共感を持っていた証だと思えます。もちろん、今は実行委員会が主体となって運営しておりますが、我々

れぞれに思い出深いエピソードがあるのだが、本人のプライバシーもあり、具体的に書けない内容も多くあるのでここでは省略させていただきます。強いというなら、手塚君はよく骨折するか、若しくはよく坊主にさせられていた。ちなみに私も、1回だけ坊主にさせられた。自分でいうのもあれだが、小学校の成績は比較的良かった。習い事も多くさせられ、ピアノ、そろばん、プール、塾、ラグビーと色々通っていた。ちなみに、ピアノは中3まで習い、ラグビーは小6のときに腕を骨折してやめてしまった。比較的成绩が良かったため、小6のときに祖父に中学校受験を勧められ、青雲中学校を受験することになるのだが、この年は長崎くんちの踊町の年であった。11月くらいから受験勉強を行ったのだが、時すでに遅く、残念ながら受験に

JCが立ち上げた事業であり、共催団体として名前を残しております。長崎の未来を担う子ども達が心身共により成長して、更に郷土愛の醸成を図るには、やはり多くのメンバーのサポート、つまりは動員が要となります。この事業を必ず成功させるためにも多くのご参加を宜しくお願い致します。

最後になりましたが、7月臨時総会におきましていよいよ第67年度の理事長候補者、そして副理事長予定者、専務理事予定者が決定致します。少しずつ次年度モードにはなっていますが、まだまだ本年度の事業も多く残っており、12月31日までは第66年度体制で運営しております。ですので、今後も引き続きのご協力を何卒宜しくお願い致します。

失敗してしまう(ちなみに、このとき通っていた塾が能力開発センターというところで、その1番上のクラスの中でも常にトップクラスだったのが中尾陽一郎君であった)。これが自分の中で第1回目の挫折である。しかしすぐに開き直り、長崎市立桜馬場中学校に入学する。桜馬場中学校には、磨屋小学校と長崎市立伊良林小学校の生徒が進学し、その当時に1学年7クラス、合計250名くらいの市内ではマシモス中学校であった。中学校では部活動はバスケット部に入ろうとしていたのだが、その頃人気であったスラムダンクのおかげで希望者が多く、これではレギュラーが取れないと思いき、水泳部に入る。後々知ったのだが、この水泳部の当時3年生にロックバンド「ストレイテナー」のボーカル、ホリエアツシさんがいたらしいのだが、全く覚

えていない。2年生まで水泳部に在籍し、後半からキャプテンになっていたのだが、何を思い立ったのか3年生になると同時にバスケット部に入る。やっぱりバスケットがしたかったらしい(笑)。又、目立ちたがり屋の私は生徒会にも入る。普通は生徒会長、副会長だけ選挙で選ばれるのだが、体育祭を企画する体育部長、文化祭を企画する文化部長も選挙となっており、文化祭を企画したかった私は文化部長に選挙で選ばれ、お祭り男としてその年の文化祭を盛り上げた。又、そんな中でも一応勉強はできた方であったので、自慢ではないがなんとか3年間を常に学年5番以内の成績でいることができた。そして中3の高校受験のとき、中学で失敗したりベンジを果たすため、青雲高校を受験し、無事に合格し進学することとなる。

# 長崎ブロック大会IN佐世保 事業報告 どがんする？長崎 ～未来を決めるのは君だ！～



長崎ブロック協議会 次世代教育確立委員会  
委員長 鮎川 愛君

去る6月2日(土)、3日(日)、第44回長崎ブロック大会IN佐世保が開催されました。次世代教育確立委員会では「どがんする？長崎～未来を決めるのは君だ！～」という事業を開催しました。これは、佐世保市長や大村市長をお招きし、学生や一般市民の皆様にご参加いただき、長崎の問題点や解決方法を皆で一緒に考えてみようというものです。当日は中学生、大学生、教育関係者の方々など多くの一般市民の皆様や、長崎JCの多くの皆様にもご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

長崎にこんな大学がほしい！と堂々と意見をいう中学生の姿が印象的で、又、大村市長には「学校という建物がなくても、このような事業こそが貴重な学校だ」とおっしゃっていただき、事業を実施してよかったと思えました。

初めて委員長となり様々な不安もありましたが、当日長崎JCの多くのメンバーにご参加いただいて、とても心強く、そして嬉しい気持ちでいっぱいになりました。本

当にありがとうございました。又、長崎JCから出向していただいた委員会メンバーにも本当に感謝の気持ちしかありません。前日リハーサルでブロック副会長より怖い目でチェックしてくれた西野副理事長、当日コーディネーターを務め大活躍だった岡部室長、前年度委員長の経験からたくさんのアドバイスをくれた永富さん、キャッチーな事業タイトルを考えてくれた田崎さん、委員会にいつも爽やかな雰囲気をもたらしてくれる大平さん、きめ細やかな心遣いで委員会をまとめてくれる運営幹事の草野さん、本当にありがとうございました。



## 6月会務室担当例会「Noマナー No JAYCEE」



例会委員会 副委員長  
青野 悠君

去る6月13日(水)、ホテルニュー長崎3F 鳳凰閣西中におきまして、6月会務室担当例会「Noマナー No JAYCEE」を開催させていただきました。この事業は、正会員と仮入会員の皆様に、青年経済人としての正しいマナーを知っていただく目的で、身だしなみ、名刺交換、電話応対、その他の4部構成で実施させていただきました。例会委員会としては、まずはメンバー全員でマナーを学び、その上で、それを

どのように会員の皆様にお伝えするのが良いのか、メンバー全員で知恵を出し合い、今回の開催に至りました。大人になると、マナーについて指摘を受ける機会も減っていきます。ご自身で事業をなされている方であれば尚更です。この例会をきっかけとして、会員の皆様のマナーに対する意識が少しでも高まり、お伝えしたことを今後のビジネスの場で実践していただければ、例会委員会一同、大変嬉しく思います。

今年度も残り半年となりましたが、今後も、会員の皆様に少しでも喜んでいただけるような例会運営に努めて参りますので、ご出席の程、宜しくお願い致します。



# 第66年度 初老祝賀会



会員開発交流委員会 委員長  
当麻 葵 君

去る6月8日(金)に、稲佐山観光ホテルにおいて、「第66年度 初老祝賀会」が開催されました。本年度は24名の会員が初老を迎えられました。初老祝賀会は今年40歳を迎える会員の一年間の無事と残り半年のJC活動を楽しく過ごせるよう祈念し、特別会員をお招きして多数の会員でお祝いをします。そして、会員相互の交流を深めることが目的です。例年と違い、4月にリニューアルした「紫陽花の間」にてテーブル・イスでの初老祝賀会でしたが、いかがでしたでしょうか？

開会後は、初老を迎えられた会員は記念品のオリジナルサッカーユニフォームを着ていただき、現役会員はイスに座る間もなく、積極的に初老を迎えられ



た会員、特別会員と嬉しそうに杯を交わし交流することができ、楽しく弾けていただいたようでした。最後の一本締めでは平成26年度ご卒業の伊吹先輩より、マツケンサンバの披露もあり、盛大に初老祝賀会を終了することができました。二次会以降は記憶をなくしたお殿様もいたようですが、思い出に残る一夜になったのではないのでしょうか。最後に、本事業にご参加・ご協力いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、初老を迎える会員の皆様の残り半年のJC活動が有意義なものになるよう祈念致します。





広報レポート

## 厄入り清祓い

去る6月8日(金)、伊勢宮(伊勢町)におきまして、厄入り清祓いが厳粛な雰囲気の下で執り行われました。長崎では長崎くんちの小屋入りに合わせて6月に男性は本厄(数え年41歳)の方、女性は前厄(数え年33歳)の方が友人知人に参加いただいた上で厄年の無病息災を祈願する伝統があります。長崎青年会議所も長年にわたりこの風習を続けています。

強い雨の降るあいにくの天気の中、男性会員21名と女性会員1名の厄入り清祓いを理事役員も列席して行いました。清祓いは粛々と行われ、終わったころには強く降っていた雨も止みました。お殿様となる会員は、仕事に向かったりゴルフに出掛けたりと夜の初老祝賀会にそれぞれ備えたのでした。



JC  
ラスト  
イヤー!

# 卒業予定者 インタビュー!!

- Q1. あなたがJCで特に影響を受けた人は誰ですか?  
Q2. JCの思い出を教えてください。  
Q3. 現役会員へ一言お願いします。



近久 宏志君

- A1. 林慎太郎先輩、馬場雅朗先輩、平井嘉一先輩。よく叱られました(笑)  
61協働推進委員長の浦川先輩と委員会メンバーの皆様。生意気な私を優しく導いてくれました。
- A2. 入会2年目の京都会議にて、メインホールの1階役員入口から堂々と入場し、会頭所信を1人で拝聴したこと。
- A3. 何事も修練ですが、仲間を大切にJCライフを楽しんで下さい。

劉 美昌君 (Mitsuhisa Liu)



- A1. 小野川武士先輩です。JCの何たるかを教えてくれました。小野川先輩がいなかったら私は未だにJC内をフラフラとしていたと思います。とても厳しい先輩であり、とても後輩思いの先輩でした。
- A2. ブロックの委員長を受けて辛いこと、嬉しかったことを感じたこと。そのお蔭で憲法にちょっとだけ詳しくなったこと。
- A3. とても辛いことをしているとき、そしてそれを達成したときが「青春」だと思います。ここでまた「青春」を感じましょう! JCに入ったからには一度は委員長を受けて青春しよう!

- A1. 中村伸一郎君
- A2. サンタランの事業では、強雨強風で予定変更や歩く距離の短縮などありましたが、委員長中心に無事成功を収めることができよかったです。
- A3. JCに入会して尊敬する先輩や多くの仲間ができてとても感謝しています。ありがとうございます。



浦田 良君

山本 智昭君 (Tomomasa Yamamoto)



- A1. 猪村栄一先輩
- A2. 短い在籍期間でしたが、多くの思い出ができました。素晴らしい方々に出会えたことが本当によかったです。
- A3. 本当に素晴らしい団体です。入会させていただきありがとうございました。皆様、これからも長崎のために……ガンバって下さい。長崎JC野球部への入部もお願い致します。

野田 敬三君 (Keisuke Noda)



- A1. 野田剛士君です。彼の方が年下だけど、いろいろ教わりました。
- A2. 松本彰司先輩のもとでブロックに出向できたこと。JCを頑張っているという充実感があって、すごく楽しかったです。
- A3. 誰か野球部に入部して下さい! 部員が少なくて試合ができません(涙)

# 2018 JCI ASPAC 鹿児島大会 ブース出展



協働推進委員会 副委員長  
**四元 聡子 君**

去る 2018 年 5 月 24 日(木) ~ 27 日(日)、鹿児島 の地にて JCI Asia Pacific Area Conference (アジアパシフィック エリアコンファレンス)、略称 ASPAC (アスパック) が開催されました。ASPAC は、毎年アジアの国々・地域からおよそ 1 万人の JC メンバーが参加する大きな大会です。

私達協働推進委員会メンバーは「和」というテーマのもと、長崎市を世界にアピールするに相応しい、ランタンやさるくちゃんを華やかに飾り、世界遺産配置図が記載してある長崎市の地図を配置しつつ、長崎の食の魅力の一つであるカステラを提供して参りました。当日は多くの外国の方から美味しいとの評価をいただき、更には国内外の多くの JC メンバーの方々と交流ができたことにより、長崎の魅力を感じていただいたと思います。今回、初めての参加だった

のですが、各 LOM が自分の住む市や町、名産をどのようにアピールするかを工夫していました。又、会場内ではハローキティによる DJ や、くまモンといった日本で生まれたキャラクターを交えてアピールするなど、多くの斬新な発想に触れることもできました。参加されたメンバーの皆様、そして全ての段取りをして下さった渉外委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。



## 65年を【第7回】 プレイバック サマーコンファレンス

みなさん、サマコンにちわ。  
 第 64 年度、伊藤信博理事長のもとで渉外委員長をさせていただきます松島です。

7 月といえばサマコンですね。LOM ナイトでの屋形船の手配が凄く大変だったことを思い出します。



4 月頭に最後の 1 隻の予約に食い込み、出向者が来れる時間、来訪 JC を乗せる時間、花火を見れる時間、色々と計算してスケジュールを組みました。当日計算通りに進みましたが、45 人でちょうど良い船に 60 人以上が乗り、密集した暑さと、僕自身の船酔いは計算外でした(笑)。



屋形船の担当者と何回も打ち合わせをして、終わってからも個

人的に連絡を取っていたところ、次の年の 3 月に「今年もどうですか? ぜひ長崎 JC さんに使ってほしい」と連絡がきました。こんなにうれしいことはないですね、委員長冥利につきます。

一つ絶対に忘れてはいけないのですが、対外事業には必ず出向者がいます。又、どの事業にも共通することですが、僕達が知らないところで会議をして、時間とお金を使って準備し、その事業を作り上げてくれているメンバーがたくさんいます。そして時間とお金を使って参加してくれるメンバーがたくさんいることも本当に感謝です。凄く大切なことを深く考えさせられる経験でした。みなさん、是非事業に積極的に参加してみてください。そして理事経験を試してみてください。そこで得られるものは、後にも先にも凄く大切なことです。

(広報委員会 松島 稔)



## 事業告知

# サマーコンファレンス



渉外委員会 委員長

溝江 琢也 君

来たる2018年7月21日(土)、22日(日)の2日間にわたり、公益社団法人日本青年会議所主催の大会である、サマーコンファレンス2018がパシフィコ横浜にて開催されます。サマーコンファレンスとは、公益社団法人日本青年会議所の運動を広く発信するために、各界を代表する著名な有識者をお招きし、政治・経済・社会など様々なジャンルのファンクションを開催する場です。2018年の開催テーマは、「日本創生への奇跡」と題し、全国の会員が、自らの営みを成長させ、人財を育成し、まちから国、そして世界を良くする行動を起こすことができる人財となるために、地方創生に関する知識や仕組みを学び、体験し、つながりを広げる機会を提供することとしています。サマーコンファレンスの歴史は1966(昭和41)年の第1回政治問題セミナーから始まりました。政治問題セミナー、国家問題会議として推移してきたこの会議は、1978年麻生太郎会頭の代に大きな変貌を遂げ、「青年経済人会議」という名称となります。その後1994年に「サマーコンファレンス」と名称変更され、より幅

の広い会議として実施されることとなりました。対内的にも、会頭の提唱するJCの自己改革の大きな実践の場として位置づけられるとともに、過去の慣例から脱却し、新たな試みによる運動発信がなされるようになりました。今年も数多くのファンクション・セミナーが開催され、必ずや自己改革・自己研鑽の学びを得ることのできる大会です。皆様のお越しをお待ちしております。



大会プログラムなど  
各種情報掲載中です！

<http://www.jaycee.or.jp/2018/summerconference>

スマホ・タブレットはこちらから！▶

## 事業告知

# ながさきみなとまつり～みなとで夏を楽しもう！～



地域推進委員会

森田 眞源 君

来たる7月28日(土)、29日(日)に水辺の森公園にて、ながさきみなとまつりが開催されます。長崎JCは2日間とも、午前10時から12時、午後1時から3時まで「作った竹水鉄砲で鬼退治コーナー!!」「世界文化遺産登録記念！キーホルダー作成コーナー!!」の2コーナーを運営します。昨年に引き続き竹水鉄砲合戦を楽しんでいただくとともに、世界文化遺産登録が決定した大浦天主堂をモチーフにしたキーホルダーを作っていただくことで、長崎の魅力を感じていただきます。みなとまち長崎の魅力が凝縮された水辺の森公園で、市民との交流を

思い切り楽しみましょう。本事業成功のためにはJCメンバー全員の長崎をよくしたいという想いが必要です。みんなで長崎を盛り上げましょう！

